

第2回会議（令和4年1月24日開催）議事のポイント

- 将来の不確実性を受け止められるような設えや仕組みが重要であり、将来に向けては、可変性や柔軟性を十分考慮した計画とすべき
- デジタルやバーチャルなどが持つ可能性と、青山という「土地」が有する即地性や場所性の両立に向けて今後も議論を深めていく
- コスモス青山・国連大学の土地利用については、具体の機能や空間形成を検討する段階で、関係者等の意向も踏まえ整理を進めるべき
- 都民の城(仮称)の現状を踏まえ、ポストコロナの観点や都市計画上の課題、タイムラインも含めて、改修計画の代替も評価検討すべき